2025年 第29週 7月14日～7月20日

多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

○ 例年夏季には新型コロナウイルス感染症が増加します。換気やマスクの着用を適切に行いましょう。
○ ヘルパンギーナが増加傾向です。昨年流行した手足口病と同様、夏季に流行する感染症ですが、どちらの感染症も患者の便中にはウイルスが含まれるので、トイレ使用時や オムツ交換時には注意が必要です。

保健所からのお知らせ

夏に流行する感染症～手足口病・ヘルパンギーナ～

夏に流行することが多い感染症である、手足口病とヘルパンギーナについて確認しておきましょう。

～手足口病～

＜症　　状＞３～６日の潜伏期間後、手、足、臀部に痛みを伴う水疱が現れます。高熱が出ることはまれです。

＜感染経路＞飛沫感染、接触感染、経口（糞口）感染

＜感染対策＞学校保健安全法では、全身状態が悪いなど、医師の判断で出席停止を 要する場合があります。発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれることが登園の目安です。
症状が消えた後も数週間から数ヵ月は便からウイルスが排出されます。登園再開後もオムツの排便処理の際には手袋をするなどの対応が必要です。

～ヘルパンギーナ～

＜症　　状＞３～６日の潜伏期間後、突然の高熱、咽頭痛、不機嫌、口腔の奥の小水疱疹、潰瘍が現れます。

＜感染経路＞飛沫感染、接触感染、経口（糞口）感染

＜感染対策＞学校保健安全法では、全身状態が悪いなど、医師の判断で出席停止を 要する場合があります。発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれることが登園の目安です。
症状が消えた後も数週間から数ヵ月は便からウイルスが排出されます。登園再開後もオムツの排便処理の際には手袋をするなどの対応が必要です。

手足口病もヘルパンギーナも、ワクチンはありません。
手洗いの励行など、普段からの感染対策をしっかりと行うことが重要です。

お問合せ　東京都多摩小平保健所　保健対策課　感染症対策担当　〒187-0002　小平市花小金井1-31-24　TEL　042-450-3111(代)